

2008
8月号

広報 みはま



みずうみ保育園の子どもたち（久々子海水浴場にて）

TOPICS

- ハートフル対話2008を開催
- 治太やんBOX・治太やんメール
- ^{ジェイ}Jアラートによる誤警報について
- 美浜発電所の状況
- 議会ニュース

No.451

平成20年7月23日発行

皆さんの声をまちづくりに生かす

ハートフル対話2008を開催

多くのご参加・ご意見ありがとうございました

町では、町民の皆さんと町政について語り合う座談会「ハートフル対話2008」を5月21日から6月27日にかけて、町内の6会場で11回開催し、360人の方にご参加をいただきました。

ハートフル対話は、山口町長と町民の皆さんがまちづくりについて意見交換を行うことで、町政について一層のご理解と関心を持っていただくとともに、各会場で伺ったご意見をまちづくりに生かすことを目的に、平成11年から毎年開催しています。

ハートフル対話では、町の本年度の4つの重点施策（健康・環境・交流・協働）と原子力発電所の耐震安全性について説明した後、参加された方からの質問や意見に対して、山口町長が説明や回答を行いました。

今回の広報では、対話の中でいただいたご質問やご意見の一部をご紹介します。



専門学校。

企業誘致の実績

Q 専門学校と企業誘致の実績を教えてください。

A 今年4月に開校した学校法人青池学園「若狭医療福祉専門学校」は、新生入生が46人と少なかつたものの、全学年がうまる3年後には、約200人の生徒が集まることが予想されています。今後、多くの学生が入学されることを期待したいと思っています。

また、平成18年度に誘致を決めた㈱フェアリーエンジェルと㈱エアーグリーンは、共に7月上旬に操業を開始することになっています。

学校法人青池学園
「若狭医療福祉専門学校」(大藪地係)



㈱エアーグリーン(金山地係)



操業開始日:平成20年7月7日

㈱フェアリーエンジェル(金山・大藪地係)



操業開始日:平成20年7月1日

獣害対策

Q 町の獣害の実態と対策について教えてください。

A 猿と鹿は、年々増加傾向にあります。耳地区での猪は減少しています。逆に、今まで猪被害の少なかつた丹生、竹波地区で近年猪被害が増加していることから、猪が移動したのではないかと思います。

獣害対策としては、ほとんどの集落で電気柵を整備し、駆除対策として檻を設置している集落もあります。猿については、パトロール隊による巡回を行っています。昔は猿との共存といった考えがありましたが、最近では猿が増え続けているので、駆除するといった考えに変わってきています。猿のパトロールについて回数を増やして欲しいとの要望があるため、対応を検討しているところです。

コミュニティバス

Q 子どもが美方高校への通学のためブルースカイを利用していますが、時間が合わ

ずに乗れないことがあります。できれば17時台に1便、18時台に1便を増発していただけないか?

A コミュニティバスのダイヤについては、美方高校やレイクヒルズ美方病院など関係者の意見を聞きながら、また、JR小浜線との乗継ぎにも配慮しながら編成しております。美方高校との連絡時間は、高校にもアンケート調査を行い、希望の時間でダイヤを組んだ経緯があります。

これからも、利用者の皆さんの意見を踏まえながら、ダイヤ改正を検討していきたいと思っています。

町民の皆さんにおかれましては、コミュニティバスをご利用いただき、改善点がありましたらお知らせください。

ブルースカイ(丹生線)



区への加入

Q 地域に住んでいるにもか
かわらず、区に入らな
い人がいることに疑問を感じま
す。防災などを考えた場合、地
域に住んでいる人が、地区の繋
がりがないままでは良いのでし
ょうか？地域の中で協働化を図
っていくために町から指導はで
きませんか？

A 現在、転入者には、転入
時に区に入るかどうかの
確認をさせていただき、非常時
の持出袋をお渡ししたり、ゴミ
の出し方などをお知らせしてい
ます。

区への加入については、今後
皆さんのお知恵をお借りしなが
ら、対応を考えていきたいと思
います。

敦賀市との合併

Q 敦賀市との合併につい
て、町長の考えをお聞き
したい。

A 基本的な考え方は、平成
15年当時にお示したこ
とと変わっておりません。

合併を行う場合の相手として
は、町民の生活圏や、これまで
の行政連携の経緯、また実際町
民の皆さんの意識等を総合的に
考えると、どのような枠組みで
あっても、敦賀市を除いた合併
は出来ないと考えております。

本町では、道州制の動向な
ど、今後刻々と変化する社会情
勢を的確に捉え、近隣市町との
連携を保ちながら町民の皆さん
とともに町の進むべき方向を検
討していきたいと思っています。

一時保育

Q 急用で子どもを預けたい
家庭には、一時保育が必
要です。有料でよいので、一日
も早い実現をお願いします。

A 現在、町内の施設では、
一時保育は行っておりま
せん。そのため町では、敦賀市
のNPO法人が実施されている
施設や託児所等と委託契約し、
通常700円かかる経費の半額
を町が補助して1時間350円
で利用いただいています。な
お、第3子以降の3歳未満の児
童については、町が全額補助し
無料でご利用いただけます。

今後、町では、あおなみ保育
園の改築やせせらぎ保育園等の
整備と併せて一時保育を行いた
いと思っています。

健 診

Q 「はあとぴあ」で実施され
る健診と「病院」で実施され
る人間ドックの検査項目の違
いは何ですか？

A 人間ドックを受ける病院
や種類（1日ドックや2日
ドック）にもよりますが、主な
検査項目として「超音波検査」
・「骨密度検査」・「糖の負荷検
査」・「直腸診」などは、「はあ
とぴあ」が行う健診には含まれ
ていません。

なお、今年の4月から40歳か
ら74歳までの全ての方を対象と
した特定健診・特定保健指導
が始まりました。対象となる方
は、「健康受診希望調査票」を
必ずはあとぴあへ提出してくだ
さい。期日までに回答がない場
合は、督促するので早めの回答
をお願いします。

※回答期限は、6月30日とし
た。まだ提出されていない方
は、早急に提出してください。

地産地消

Q 給食センターは、使う野
菜の大きさや形状といっ
た規格が制限されており、作る
側としては、大変苦労していま
す。もっと柔軟に対応できませ
んか？

A 給食センターを建設する
にあたっては、地場産学
校給食推進事業や学校給食建設
委員会検討を重ね、地産地消
にも対応できる給食センターと
しております。

しかし、野菜の切断について
は、1台の機器で対応している
ことや、1000食分の給食を
限られた時間と労力で提供しな
くてはならないことなどから、
規格外の野菜についての納品は
行っておりません。

今後は、町の地産地消と食育
を推進する拠点施設として、更
なる有効活用を進めたいと考え
ております。



エネルギー環境教育

Q エネルギーや環境問題については、子どもの頃からしっかり教えるべきだと思います。また、原子力の必要性も教えるべきだと思います。

A 町では、児童生徒がエネルギーと環境問題を分かりやすく学べるように、平成18年度に「エネルギー環境教育力リキウム」を作成しました。

平成19年度には、そのカリキュラムを基に「エネルギー環境教育副読本」と「ワークシート」を作成し、現在小中学校で使用しています。

内容については、身近なことからエネルギーや環境について考え、更に原子力についても学んでいくものです。

これから、町ではエネルギー環境教育の推進に取り組んでいきたいと思っています。



エネルギー環境教育副読本

(中学校第1学年)

学校の耐震性

Q 各学校の耐震性について教えてください。

A 町内小中学校の耐震診断は全て済ませています。

町内には、緊急に補強を必要とする学校はありませんが、耐震診断で補強の必要があると判定された学校においては、順次補強工事を行う予定です。

現在、丹生小学校体育館の補強工事を行っており、来年度以降、丹生小学校校舎、弥美小学校校舎、美浜北小学校校舎の耐震補強工事を予定しています。

美浜中学校については、現在改築中で、校舎・体育館については来年7月に完成の予定です。



補強工事を行う丹生小学校体育館

発電所の自衛消防隊

Q 美浜発電所の自衛消防隊が地域の災害に対して、どの程度活動できるのでしょうか？

A 美浜発電所の自衛消防隊は、発電所内での安全確保のために設置されたものです。発電所内の自衛消防隊は、初期活動による災害の拡大を防ぐことが主な目的で、発電所構内で災害が発生した場合、これまでと同様、消防行政(消防組合)の中で対応することとなっています。

地域の災害に対して発電所の自衛消防隊が、自主的な活動を行うことは、なかなか難しく、乱や災害を招く恐れがあるため、難しいと考える。



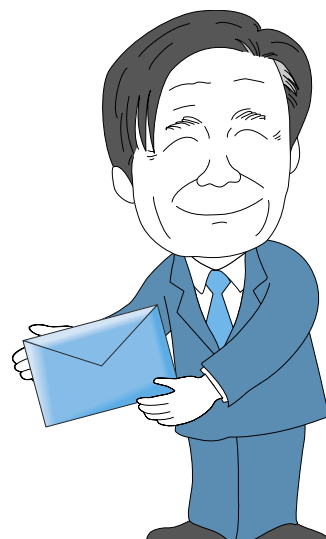
訓練の様子

発電所の新検査制度

Q 定期検査の間隔が延びると聞いていますが、これにより、地域経済に影響が出てくるのではないかと心配しています。

A 国の原子力安全・保安院から説明を受けた、現在検討が進められてきている新検査制度は、プラントごとの特徴に応じた個別の保全活動が求められることや新技術を使った運転中の検査が義務づけられるとともに、その実施状況を国が審査や確認をしていくなどによって、安全性・信頼性の一層の向上が図られるということで、一定の評価ができるものと考えています。

この制度の下では、運転期間(定期検査間隔)の延長も可能となることから、定期検査に係る仕事量の減少やこれに伴う地元経済への影響を心配する声が聞かれますが、一定期検査当たりの点検量が増えることや運転しながらの機器の状態を監視する作業量も増えることなどから、地域経済への大きな影響はないものと考えています。



治太やんBOX・治太やんメール

町では、町民の皆さんにまちづくりに対してのご意見やご質問などをいただくための窓口として、お手紙でいただく「治太やんBOX」、電子メールでいただく「治太やんメール」を設置しています。

皆さんからお寄せいただいたご意見などは、山口町長が必ず読み、回答を送らせていただいています。

「治太やんBOX」は平成11年6月から、「治太やんメール」は平成13年5月から運用してお

り、平成19年度には、BOXに18件、メールに12件の計30件、また、平成20年度には、これまでにBOXに2件、メールに5件の計7件のご意見やご質問をいただきました。



治太やんBOX
(町役場町民プラザ)



治太やんBOX

町に対するご意見、ご要望をお聞かせください

「治太やんBOX・治太やんメール」は
常時受け付けています。

治太やんBOX (6か所設置)

- 町役場 (1階町民プラザ)
- 保健福祉センター「はあとぴあ」
(1階ふれあい広場)
- 東部診療所
- 丹生診療所
- 総合体育館
- 中央公民館

治太やんメール

- メールアドレス
jitayan@town.mihama.fukui.jp

～お願い～

「治太やんBOX・治太やんメール」を利用される場合、必ず住所と氏名の記入をお願いします。

せっかく貴重なご意見をいただいても、氏名などが記入されていない場合、町長から具体的な回答をお届けすることができません。



※お問い合わせ先 町企画政策課 (担当・武田) ☎32-6701

◇今回は、皆さんからBOXやメールにいただいたご意見とそのご意見に対する町の対応の一部を要約して紹介します。

議会放映の時間帯



MMネットの47チャンネルで、議会のようすが2日間とも午後8時から放映されていますが、同じ時間帯では、見ることが出来ないことがあります。

どちらかの放映時間をずらしてもらえませんか？



議会放映は、議会開催日翌日の午後8時とその2日後の午後8時の同じ時間に2回放送していますが、ご指摘いただいたとおり、2回の放送が同じ時間では、視聴することが困難な方もおられると考えられます。

今回いただいた意見をふまえて、議会との相談を行い平成19年6月11日から開会される第5回定例会の放送から、2回目の放送(再放送)をこれまでの午後8時から午後1時に変更します。

子育て支援センターの駐車場



よく娘を連れて子育て支援センターに遊びに行きますが、行事があると、今の駐車場では、車がいつぱいになり停めることができません。

最近解体した耳地区公民館西分館の跡地を駐車場にしていただけませんか？



耳地区公民館西分館の跡地は、西分館の体育館(子育て支援センターと併用)及びグラウンドを利用される方の駐車場として利用する予定です。

体育館は、夜間の利用がほとんどですので、日中はグラウンドを利用の方が主に使用する見込みです。

そのため、駐車場に空きがあれば、子育て支援センターを利用される方にもご利用いただきたいと思います。

「ミニミニ」バスの停留場



太田のバス停からJR東美浜駅までが遠いので、もう1つ西側に設けていただけませんか？



現在、新たにバス停を増やす予定で手続きを進めています。JRの秋のダイヤ改正に併せて実施したいと思っています。

「ミニ」の分別



私の実家では、「プラスチックごみ」を分別するため、1週間に出る可燃ごみの量は「小」のごみ袋1つでまかなえていました。しかし、美浜町では可燃ごみとして出さなければならぬので、「大」のごみ袋が2つ必要となります。

分別することは、手間で家事をする者にとって仕事が増えますが、極力リサイクルし、ゴミを減らすことが、現代人の務めだと思っています。

プラスチックごみの分別について、検討してください。



各自治体でゴミの分別種類は異なり、自治体の方針と処理施設の機能によって異なります。

本町のごみ処理は、エコクル美方のガス化溶融炉で1,500℃の高温で処理しているため、プラスチック類を処分してもダイオキシンの発生はほとんど出ない炉となっており、可燃ごみとして収集しております。しかし、近隣市町の焼却するタイプの炉では、プラスチック類を燃やすとダイオキシンが発生するため不燃ごみとして分別収集し埋立処分をしているところが多いようです。

本町では、生ゴミや食用油などの分別による可燃ゴミの減量化や各種リサイクル資源の確保に努めています。リサイクルゴミの種類を増やすことは新たな施設整備や人件費等も必要になるため、費用対効果を考慮し効率的なりサイクルを行っています。

これらのことから現段階ではペットボトルと白色トレイ以外の、プラスチック製品の分別を行う予定はありませんが、環境に対する社会情勢の変化や新たな課題等が生じた場合などについては検討して対処することが必要であると考えています。